

学習指導案

日時	令和3年 月 日	指導者			
教科・科目	工業（電気）・電気基礎	単元名	第5章 交流回路の計算		
本時主題	キルヒホッフの法則（2時間目／全3時間）				
本時の目標	交流回路にキルヒホッフの法則を適用し、回路の各電流を求めることができるようにする。				
学習活動に即した評価規準	①知識・技術	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度		
			キルヒホッフの法則、重ね合わせの理、鳳・テブナンの定理などの回路に関する定理に関心をもち、真面目な態度で学習に取り組むことができる。		
時間 【過程】	ねらい	学習活動	指導上の留意点	評価 規準	評価 方法
10 【導入】	【本時の説明】 【復習】	<ul style="list-style-type: none"> 本時の目標と授業内容を説明する。 課題1と手順練習で説明と復習をする。 (直流回路についてキルヒホッフの法則を用いて計算) 	<ul style="list-style-type: none"> キルヒホッフの法則を用いた直流回路の計算を課題として出題する。 理解度に差異があるので、発展課題1を準備する。(主体的に学習に取り組む態度：自らの学習の調整を評価) 	③	活動観察 ワークシート
35 【展開】	【説明】 【演習】 (グループワーク)	<ul style="list-style-type: none"> 教科書を用いて交流回路でのキルヒホッフの法則について、第一法則、第二法則の確認をする。 課題2を用いて解き方を確認。 終わった生徒は発展課題2に取り組む。 (演習はグループワーク形式で行い、生徒同士の交流を呼びかける) 	<ul style="list-style-type: none"> 発展課題2を準備する。(主体的に学習に取り組む態度：自らの学習の調整を評価) 	③	活動観察 ワークシート
5 【まとめ】	【本時のまとめ】 【次回に向けて】	<ul style="list-style-type: none"> 交流回路にも直流回路と同様にキルヒホッフの法則を適用できることを確認する。 次回に向けて復習を呼びかける。 	<ul style="list-style-type: none"> 次回は電流に加えて偏角を扱うので、今まで学習した複素数の取り扱いや、複素数表示と極座標表示の変換について復習を呼びかける。 		